

資料 1

介護サービス事業所の現状と課題

平成27年4月に介護保険の改正に伴い、施設の経営は厳しい状況が続いております。

介護老人保健施設は、病院と在宅をつなぐリハビリを行う施設の位置づけです。

介護老人保健施設の役割を踏まえ、経営上の工夫もしていかなければなりません。

介護老人保健施設のうち、在宅強化型・在宅復帰在宅療養支援加算を算定している施設は、急性期病院や回復期病院等から退院される時は在宅として位置づけられます。

加算を算定していない施設は、在宅と位置づけられません。

今後、介護老人保健施設は、在宅を目指して行くのか、そうでないのかで二分化していくと思われま

す。加算をとるうえでの条件は、厳しいものもあり、練馬区内の老健では、11老健中、1老健が在宅強化型・2老健が在宅復帰在宅療養支援加算を算定し、8老健は、従来型の老健となっております。

課題としましては、介護・看護の人材不足と人材の育成が挙げられます。

人材不足に関しては、これからの世代を育てていくことと今現在の人員不足をどうしていくのか二点があると思

います。これからの世代を育てていくことに関して

学校を新規採用のために訪問していますが、介護福祉士の大学や専門学校の平成28年3月卒業の生徒数が学校によっては、少ないところで8名・多くても50名ぐらいです。

求人に関しては、約1000社を超えると聞いています。

学校の先生からは、卒業と同時に資格が取れなくなり、国家試験を受けないといけな

い政策が決まってから、介護福祉士を希望する人が少なくなったと聞きました。介護福祉士や介護にかかわりたいとこれからの世代の子供たちに思ってもらえるように、練馬区内で小学生や中学生、そして、小学生や中学生の保護者の方に、介護の道を勧め

て頂けるように、介護は楽しいしやりがいがあるということを経験できる機会を、学校の授業などでできるように

なっていければと思います。現在の人員不足に関して

今、勤めている介護職員が、長く勤められるように、介護負担をいかに軽減するかがポイントになると思

います。ベッドから車椅子に移す時に使うリフトの導入の検討やご利用者様の自立を促すために、車椅子や除圧クッション、リフト、スライディングシート等ご利用者様に合わせた福祉用具の導入にすることより、長く自分のことは自分で出来る、排泄が1人で出来る等自立した生活が維持向上できるように感じ

ます。現在は、車椅子等の福祉用具等は施設での準備をしています。準備に際しては、いろいろな方に合うようにどなたにでも使える車椅子を購入します。しかし、利用者様お一人お一人に合わせられるわけではないので、ご

利用者様にとっては車椅子が大きかったり、フットレストが上がらないため足を引っ掛けやすかったりしています。ご利用者様1人1人に合う車椅子を人数分そろえることは難しいと思われ

ます。車椅子等の福祉用具を施設でレンタルすることが可能になれば、ご利用者様の自立度が上がることにより、自立

を促すことができ、介護職の負担も軽減するのではないかと考えます。

また、介護ロボット等の開発が進んでいます。介護ロボット等の導入や活用の仕方等の検討も課題かと思われ

ます。人材育成に関しては、研修の参加を促したいところですが、人材不足により参加できない状況が見られます。

研修に参加ができるよう人材不足の解消等が必要と思われ

社会福祉法人福音会 大泉学園高齢者グループホーム まささんの家
地域密着型サービス部会代表 大嶺 ひろ子

まささんの家の取り組み

今年が開設15年目、1ユニット9名定員のグループホームです。

60歳～91歳の方が利用されています。平均要介護度は3.8です。何名かの看取りも行っています。「自分らしく、今を大切に」という理念のもとご本人ができる事はして頂き達成感や満足感、生活感を感じていただけるように支援しています。ケアワーカーは黒子に徹しながら必要な支援のみを行い共同生活の中で入居者同士の力が発揮できるように声かけなど行います。

また2カ月に1回町会長や民生委員、家族、行政との間で「運営推進会議」というものがあります。

社会や地域と繋がってホームの人ではなく住民としての生活を送ります。

練馬区には沢山の資源があるので季節を感じられる外出（お花を見に行くなど）や図書館、近隣のスーパーなどへ買い物や外食、寄席き、音楽鑑賞、美術鑑賞などにも出かけます。

毎年恒例の一泊旅行は入居者、ご家族、ボランティアを含め19名で今年は伊香保温泉に行ってきました。

どこへ行ったかは忘れていても、楽しかったという感情は残っています。

また、ホームの中だけの環境は限られますが外へ行くことで沢山の会話にもつながります。

人材確保について

32件ある認知症対応型共同生活介護（グループホーム）では認知症の診断がないと入居できません。ケアの難しさや夜勤勤務もあるため職員確保は厳しい現状があります。小さいお子さんがいると遅番や夜勤もなかなかできません。練馬区では施設系サービスも多いのでこれからますますの人材不足になることは予測できます

また、措置の時代から福祉の仕事をしてきた人は退職の時期に入ってきて来ます。

練馬区の福祉人材確保をどうするべきか、子供たちから種まきをする必要性を感じています。

【居宅介護支援事業所】

<一般的な紹介>

- ・介護支援専門員（ケアマネジャー）の事業所
- ・平成 27 年 10 月 1 日現在、区内に 222 事業所（練馬地域 59 光が丘 63 石神井 45 大泉 55）
- ・担当利用者のケアマネジメント（受付→契約→アセスメント→ケアプラン原案→サービス担当者会議→ケアプラン→モニタリング）と給付管理（担当件数の制限あり 1 人当たり 40 件未満）
- ・「その方の自立支援のために」「その方らしい生活ができるように」を目指し、本人を含むケアチームで検討し、ケアプランとして方向性を示す
- ・高齢者相談センターとの連携

【人材募集の工夫や不足の対応】

<現状>

- ・おおむね充足されている
- ・ハローワークや折り込みチラシに掲載しているがなかなか応募につながらない
- ・法人内の別の事業所のスタッフに資格取得を勧めている
- ・特定事業所加算を取得しているため、主任介護支援専門員やよりよい人材を募集しても問い合わせすらない状況が続いている

<介護支援専門員の人材確保の工夫>

- ・法人内で介護支援専門員の資格取得した人に声をかけ人事異動で確保している
- ・育成に時間をかけている、事業所が複数あるため勤務先の希望を聞いてくれることもある、法人の取り組みなどを提示している
- ・職員の口コミのほか、ホームページ、ネット媒体、ハローワークなどを利用
- ・法人本部が一括して行っている（ホームページや求人情報誌活用）
- ・独自のネットワークにより情報交換を適宜行っている（しかし成果はあまりない状態）

<人材不足への対応>

- ・担当件数に限りがあるため新規の受け入れができず他事業所を紹介したことあり
- ・法人本部に人員補充を依頼する
- ・事業所の今後の発展を考えたとき若手職員を増やす必要があると考える（主に法人内部から有資格者を増やしたい）
- ・現在いる介護支援専門員の資質向上を図っている

以上

大泉はなわクリニックの 介護保険サービス



- ・通所リハビリテーション（デイケア）
 - ：定員40名、月間延べ約900名が利用
 - ：平均要介護度 約2.5
 - ：職員体制 相談員×1 PT×7・ST×2（3名以上/日）
看護師×4（2名以上/日）、介護士15、補助職員3（7名以上/日）
- ・訪問リハビリテーション
- ・居宅介護支援

通所サービスとその種類

施設に通って食事、入浴などの介護や機能訓練（リハビリ）などが受けられます

①通所介護（デイサービス）

：食事、入浴などの介護の他機能訓練や口腔機能向上、栄養改善などのサービスのうけることもできます。特徴を生かした様々の種類の施設があります

②通所リハビリテーション

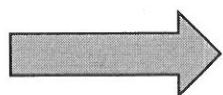
：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門的なリハビリが受けられる施設です。病院、老健、診療所が開設する医療系のサービスです

③認知症対応型通所介護

：地域密着型サービスで認知症の方に特化したサービスです。練馬区が指定、監督の権限を持っています

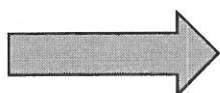
人材不足について

通所の介護職員については資格制限がありません。それでも年々職員募集をかけても採用できない傾向が強くなってきています。専門職についてはその傾向に拍車をかけた状況です。一方現場においては介護の質を上げるために職員研修に力を注いでいますが、そのための人のやりくりで疲弊してきている状況です。そのために私たちは



まずは、初心者でも介護の職場に興味を持って働いていただけるような取り組みを様々考えています。

- ・処遇改善加算金による待遇改善
- ・充実した研修により、資格取得を支援



民間だけでの自助努力だけでは限界が来ていますさらに不足がひどくなる事を見越した公的支援が必要です。



事業所紹介

昭和36年の創業以来、会社の経営理念「お客様、社員、地域社会、会社に素敵な笑顔の花を咲かせること」を掲げ、現在、次の事業を展開しています。

株式会社ケアサービス伊東の事業

○訪問介護サービス

ホームヘルパーがご自宅にお伺いして、自立した日常生活を送れるように介護保険法に定める身体介護・生活援助サービスを実施しています。

早宮・大泉・練馬・千葉県八千代市 4事業所

○ステ木有償サービス

お客様のご要望に合わせて、公的制度では対応することができない、さまざまなサービスを提供します。

早宮・大泉・練馬・千葉県八千代市 4事業所

○その他、障害福祉サービス・地域生活支援サービス・行政委託サービス・育児支援ヘルパー派遣など各種サービスを行っています。

早宮・大泉・練馬・千葉県八千代市 4事業所

○居宅介護支援サービス

○福祉用具貸与・販売サービス

○通所介護サービス

※事業所により対応していないサービスもあります。

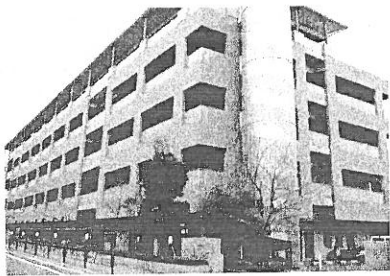
人材募集等について

現在、ハローワークを活用している状況ですが、ハローワークの担当者は、売り手市場と言っている事もあり、募集を出しても応募が来難い状況となっています。(同様の業種の募集も多く、また、介護は賃金が安い、重労働というイメージもあると思われます)、また、職員のご子息や職員からの紹介も徐々に増えて来ています。

業界としては、3Kや4K・低賃金産業と言う見方が定着していますが、それぞれの働き手のライフワークバランスを考えて働ける、やりがいのある仕事だと言う事を積極的にPRしながら、雇用の創出を進めて行かなければならないと思います。

平成27年10月16日
株式会社ケアサービス伊東
専務取締役 澤 幸広

大泉特別養護老人ホームの ご紹介と事業の課題



練馬区社会福祉事業団
大泉特別養護老人ホーム
施設長 中 迫 誠

2015.10.30

大泉特別養護老人ホームの事業

◆開設年月日 平成11年4月1日

- 特別養護老人ホーム入所定員・・・120名
- ショートステイ・・・・・・・・・・15名
- デイサービスセンター・・・・・・・・40名
- 認知症デイサービス・・・・・・・・12名
- ケアハウス・・・・・・・・・・50名
- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業所

特別養護老人ホームとは

- 練馬区内に27施設あります。建設に際しては東京都や練馬区からの補助金があり、介護施設の中でも安い料金で利用できます。
- 常に介護を必要とする人が対象で、体の不自由な人や、認知症の方が生活しています。
- 申し込みは、要介護3以上(特例有)限られており、全ての施設でたくさんの待機者がいる状態です。大泉特養では、約800人の方が申込みされています。
- 終末までの介護を前提としていますが、医療行為が必要な場合は利用できません。
- 短期入所の事業もあります。

2013.9.5

大泉特別養護老人ホームの現状

平成27年10月15日現在

お客様状況	男性 21人	女性 108人	平均年齢 84歳	平均要介護度 4.03	
要介護度区分人数	要介護1 4人	要介護2 4人	要介護3 25人	要介護4 42人	要介護5 44人
職員配置 (常勤換算)	介護職員 60人	看護職員 7人	利用者数 135人	利用者数:職員 2.01 : 1	
待機者数	27年度より原則として要介護3以上の人に限定 されましたが、約800人の方が申込みされています				

事業の課題

- ◆介護人材の不足
- ◆介護を目指す人の減少
- ◆「介護は3K」などネガティブなイメージ
- ◆介護報酬の減額による将来への不安
- ◆介護をサービス業ととらえる利用者
- ◆家族機能の喪失と介護保険への依存
- ◆その他・・・いろいろあります



介護の現状を正しく理解してもらうために、私たちが社会に働きかけることが、何より重要なことだと考えています。

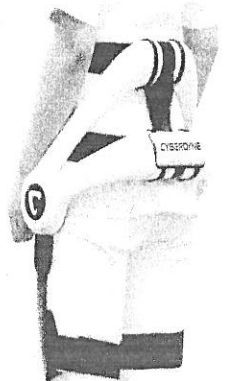
2013.9.5

未来の介護に向けて

事業団では、職員が、いつまでも安心して働ける職場環境づくりを進めています。

その一環として、介護用リフトを導入しています。今年度より移乗介助時などに腰部にかかる負担を低減させる介護支援ロボット「HAL」を大泉特養と関町特養で導入し、メーカーと共に新しい介護に取り組んでいきます。

未来の介護を希望のあるものにする事ができるか今問われています。



5

住宅改修事業の概要

株式会社キバナデザイン

事業所の説明

当社は、高齢者が在宅生活を自宅において快適に行えるよう、住宅改修を行う事業所です。

介護保険住宅改修とは

要介護認定・要支援認定を受けた方が、対象となる住宅改修工事を行った場合、住宅改修費が支給されます。

○対象となる住宅改修

- 1.手すりの取付
- 2.段差の解消
- 3.滑りにくい床材への変更
- 4.扉の取り換え・撤去
- 5.便器の取り換え

以上の対象となる工事費の内 20 万円までが支給の対象となります。

※練馬区においては、介護保険住宅改修の他に自立支援住宅改修給付が別途あります。